

水 中 た よ り

令和8年4月13日
十日町市立水沢中学校
学校だより
令和8年度 第1号

「ウェルビーイングの向上を目指して」

校長 佐藤

令和8年度の水沢中学校の活動がスタートしました。本年度は、1年生28名、2年生29名、3年生25名の全校生徒82名でのスタートです。また、新任式で5名の先生方が着任して、教職員は18名となります。

9日の入学式では、たくさんのご来賓の皆様、保護者の皆様とともに、新入生の中学校生活の出発を祝うことができました。また、2・3年生は、拍手や校歌など立派な態度で歓迎の気持ちを表しました。入学式では、式辞として新入生に向けて以下の内容を話しました。

～式辞からの抜粋～

今日から皆さんは水沢中学校の一年生です。この水沢中学校で、たくさんのことを学び、未来を創る力を身に付けていくことになります。そうした生きる力を身に付けるために、一年生の皆さんに心に留めておいてほしいことを三つお話しします。

一つ目は、進んで人とかがわることです。人は、人とかがわることで成長します。人との接し方、思いやりの心を身に付けるために、かかわりは必須です。十人十色の言葉のように、人それぞれ考え方や性格は違います。お互いの違いを認め合い、尊重し合う気持ちをもって、友達や上級生、先生方、地域の皆様と、進んでかかわっていきましょう。

二つ目は、間違いや失敗を恐れずに挑戦して経験を積むことです。人は、様々な経験を積み重ねて成長していきます。そして、「分かった できた」と学んだことが増えていくと自信になります。学校生活や部活動などの様々な活動に進んで挑戦し、継続することでやりぬく力が身に付いていきます。

やってみよう 何とかなると、間違いや失敗を恐れずに、どんどん挑戦していきましょう。

今話した「進んで人とかがわること」「挑戦して経験を積むこと」の二つは、水沢中学校の教育目標「豊かな心 やりぬく力」につながります。皆さんが、これからの三年間を仲間と共に充実して生活できるよう、心に留めておいてください。

三つ目は、「健康な心と体をつくること」です。心身共に健康でいられるために、丈夫な体を作ること、食事や睡眠などの望ましい生活習慣を身に付けることが何より重要です。心と体が元気でない人は成長できません。健康で幸せな状態のことを、ウェルビーイングといいます。新入生の皆さんを入れた全校生徒82名と、保護者の皆様、地域の皆様、そして、私たち教職員を含めて、水沢中学校にかかわる全ての人でウェルビーイングの向上を目指していきましょう。(略)

私ども教職員一同、安心・安全を第一に、子どもたちを真ん中におき、一人一人をよく見取り、次代を担う子どもたちの育成に力を尽くしていく所存であります。そして、笑顔あふれる学校を築いてまいります。

今年度も保護者・地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、教育活動に努めてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

